

アクセスソリューションズ(AS)

経営統合によるシナジー最大化をはかり、Tier1ビジネスとして競争力向上へ

取締役副社長執行役員
アクセスソリューションズ事業本部長

岩屋 良造



コア・コンピタンス

メカニカル機構から電子技術、さらにはソフトウェアまで、クルマに関するあらゆる分野のシステムを開発設計から生産まで一貫して手掛けるノウハウを持っています。ミネベア アクセスソリューションズ（旧ホンダロック）との統合により、製品（アクセス製品事業のシナジー強化）、販売（顧客基盤が異なることによるTier1ビジネスの拡大）、拠点展開（進出地域の相互補完によるグローバル対応）を強化しています。



ミネベア アクセスソリューションズ 宮崎工場

機会

- 自動車における電動化／高機能化に伴う高付加価値品へのシフト。
- コネクテッドカーへのシフトによるデジタルキー市場の増加。
- ハンドル、ラッチ、パワークロージャースystem、ドアミラーなどの高付加価値化による1台当たり要素部品点数の増加。
- Tier1ビジネスの拡大。

リスク

- 競合他社による攻勢の強化およびそれに伴う価格戦略への影響。
- 景気動向や部品調達難等を背景とした自動車メーカーの生産調整。
- 部品／機能の安全性や共通化等の要因により自動車メーカーが既存製品を選好する可能性。

機会とリスクへの対応

- 構造改革の実施により低価格品から高付加価値品にシフト。
- 技術のプレゼンスを高め、高級車メーカー向けハイエンド製品の開発を加速。
- 当社独自のモジュール化／アクチュエーター化による共通エンジンを開発。

2023年3月期の概要

2023年1月27日をもって連結子会社としたミネベア アクセスソリューションズの業績に加え、自動車向けの販売が回復したことなどによって、増収となりました。負ののれんによる収益もあり、売上高は1,947億円、営業利益は223億円、営業利益率は11.5%となりました。

※特殊要因を除いた営業利益 21億円、営業利益率1.1%

2024年3月期の見通し

欧州事業の構造改革を確実に進め、新たに経営統合したミネベア アクセスソリューションズを含め、Tier1としてのプレゼンスを最大限に活用して、売上および収益性の拡大をはかってまいります。

中期事業計画

市場回復と統合効果で大幅な収益改善

主なポイント

- 1 市場回復による構造改革効果の顕在化
- 2 統合によるコスト削減
- 3 高付加価値製品へのシフトを加速
①コンパクトスピンドルドライブ
②フラッシュハンドル ③eラッチ
④チャージポートドア

『「相合力」でオンリーワンを目指す』戦略

経営統合により、ミネベアミツミのアクセスソリューションズ事業において、Tier1メーカーとして自動車OEMに直接納入する製品のラインナップが強化されました。

電動化が進むことによって、当社製品の相合をいかにせるアプリケーションも広がっています。例えば、EVの充電に使用されるチャージポートドアでは、アクチュエーター、ひずみゲージ、キネマティクス（運動学）技術を組み合わせ、高付加価値化に取り組んでいます。ドアハンドルも、アンテナ・センサー・ひずみゲージ・モーター等のミネベアミツミグループの相合製品として開発し、市場での実績が生まれています。ハンドルの開発においては、ドイツのスピンドルモーターの技術者がユーシンの技術者と主に開発を進めるなど、「人」の相合もいかされています。

さらに、Tier1ビジネスとしてラインナップを増やしていくことで、これらの製品を一緒に販売し、お客様の課題解決に幅広く対応することが可能になっています。



チャージポートドア



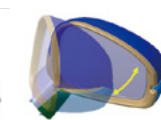
アクチュエーター

ひずみゲージ

社会的課題解決製品の開発と部品供給

ミネベア アクセスソリューションズとの統合により、アクセスソリューションズ事業に、ドアミラーがラインナップとして加わりました。ドアミラーは、高速走行や悪路走行でも、後方視界が阻害されないように高い剛性・振動性能を有し、格納や鏡面調整時の作動音についても静音性を実現しています。ハイエンドモデルを中心に電動化、高機能化が進むなか、補助カメラやインジケータの搭載によるブラインドスポット表示から、カメラなどを活用したeMirrorによるブラインドスポット支援も注目されています。自動運転への対応などに向け、安全性能向上のニーズはますます高まっており、周辺情報のセンシングやデジタルな視界の取り込みなど、当社のセンサー、アクチュエーターの活用機会も広がっていきます。また、搭載部品が増えるなかで省エネルギー化との両立も求められ、グ

ループの相合力をいかし、アンテナの取り込みによるエアロダイナミクスの向上、精密技術をいかした筐体やカメラ・ハーネスの薄型化などに貢献します。



新しい価値実現へ
向け推進

